

	公表	事業所における自己評価総括表
--	----	----------------

○事業所名	放課後等デイサービス ひだまり		
○保護者評価実施期間	令和7年2月4日 ～ 令和7年2月12日		
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	20	(回答者数) 18
○従業者評価実施期間	令和7年2月10日 ～ 令和7年2月15日		
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	9	(回答者数) 9
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年2月20日		

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的にを行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	学校や相談支援事業所等関係機関との連携を密にして情報共有し、よりよい子どもの支援をしています。学校が子どもの様子を見るために訪問していただいています。 保護者と支援方法の面談や子育て等の相談を受け、保護者の負担をできるだけ取り除けるような機会を設けています。	保護者の承諾を得たうえで、学校とは頻繁に連絡を取り合い子どもの支援について話し合っています。必要に応じて学校へ出向き、管理職も交えて支援について話をしています。 子どもの様子や保護者のことで気になることがあるときは、随時面談等を行っています。	今後も更に関係機関との連携を深め、より質の高い支援をしていきます。 今後も気持ちの上で保護者負担が軽減できるように支援していきます。
2	個別支援中心であることで、一人一人の利用児と十分に関わることができ、「自分を見てくれている」という安心感を与えられています。 保護者は支援に満足しており、利用児は安心感を持って通所しています。	担当指導員が異なった視点から関わることで、様々な変化に対応でき、その子に合った支援ができています。 誰もが相談しやすい環境を作り、子どもの様子を報告し保護者の要望を聞くなどして、安心して通所できるようにしています。	不安を抱えている子どもに対して個別相談を行い、安心して過ごせるように支援していきます。 今後も保護者との連携を十分に図り、安心して通所できる環境作りに努めていきます。
3	障がいのあることを特別とせず、子どもたちの自立に向けた支援をしています。そのために必要な学習支援や社会性を身に付けるためのプログラムを取り入れています。	保護者の要望もあり、学校の宿題を中心に学習支援をしている。また、宿題以外で理解できていない所の学習支援もしています。 あいさつや礼儀、正しい言葉の使い方や他児との関わりなど日常生活の中で習慣化するよう支援しています。	時間の経過とともに全てが習慣となり、あたり前の生活行動となっていることを受け、今後も日頃からの取り組みとしていきます。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	利用希望者が多く、お断りするのが申し訳ない状態であり、支援が必要なお子さんたちに利用いただけないこと。	現状の子どもたちが学校や地域で他児や社会と交流できるよう自立に向けた支援をしています。	早く自立できる仕組み作りをして、社会に適応できるように支援をしています。
2	事故防止マニュアル、緊急対応マニュアル、感染症対応マニュアル等各種マニュアルは策定しているが、保護者への情報発信が不足していること。	各種マニュアルが紙媒体で閲覧できるようにしているが、所定の場所でないと閲覧できないので、保護者会や保護者面談等の際に閲覧できるようにしていきます。	マニュアルを電子的に確認できるような体制づくりを検討します。
3	放課後児童クラブや児童館等との交流や地域の他の子どもと活動する機会が不足していること。	放課後等デイサービス以外での集団活動に参加できない子どもたちが多く、他での活動に負担を感じることがあろうと思います。特性を考えて負担を感じないような交流の機会を提供していきたいと考えています。	地域の様々な世代の方々と交流できる活動の機会を提供できるよう検討します。。